

【2018年度 学修成果に関する「卒業時アンケート」結果の講評】

【 食物栄養学科 】

設問	講評	課題	備考
1) 建学の精神「真心・努力・奉仕・感謝」を意識した行動ができましたか。	68%の学生が建学の精神を意識した行動ができたと回答した。真心、努力、奉仕、感謝は社会に出てからも、人として大切にしたいことである。卒業後も本学の建学の精神を意識して行動してほしい。	9% (4名) の学生が建学の精神を意識した行動ができなかったと回答した。4大精神の一つでも意識できるように、学生指導していく。	
2) 文章理解・コミュニケーションスキル・情報処理スキル等が身についたと思いますか。	79%の学生が身についたようである。実験での理論的なレポートの書き方、発表時のパワーポイントの作成、レポート課題などによって、様々なスキルを身につけることができたと思われる。	5% (2名) の学生がスキルが身につかなかったと回答した。スキルが身につけているから単位が修得できているため、自身のスキルに満足していないことが推察された。	
3) 学んだ知識等を活用して、課題を解決する力が身につきましたか。	86%と大多数の学生が課題解決力を身につけることができた。2年間の学修の成果として大いに評価したい。	あまりできなかった、できなかったという学生が14% (6名) であった。自身の力に自信が持てるようにフィードバックでフォローしていく。	
問2 4) 教養科目(基礎科目)における知識の修得と理解ができましたか。	79%の学生が修得と理解ができたようである。各自が興味のある科目を選択しているため、もう少し高い評価となるように努力してほしい。	興味のある科目を選択しているにもかかわらず、できなかったという回答が5% (2名) であった。学修意欲を高めてほしい。	
5) チームワークを意識した行動ができましたか。	83%の学生がチームワークを意識した行動ができたと回答した。実験・実習はもとより、食育教室の開催、むらさきまつりの運営など、積極的に取り組んできた成果といえる。	5% (2名) の学生は意識した行動ができなかったようである。集団の中には、グループが苦手な学生もいることを理解したうえで、今後の学生指導をしていく。	
6) 専門的な知識や技術・技能の修得ができましたか。	84%の学生が専門知識・技能を修得できたようである。2年間で修得した知識・技術・技能を社会に出て、さらに高められるように、これからも努力してほしい。	あまりできなかった、できなかったという学生が14% (6名) であった。栄養士必修の単位を修得できているため、自分に自信を持って欲しい。	9割近くの学生が専門知識、専門技術を修得できたと回答している。
問3 学習に対する成績評価は満足できるものでしたか。	84%の学生が成績評価に満足しており、多くの学生が満足しているといえる。	16% (7名) の学生はやや不満、不満であった。学生が自分の成績評価に納得のいくように、教員は成績評価の仕方を厳格化していく必要性を感じた。	
問4 2年間の学修が就職活動に有用でしたか。	86%の学生が就職活動に有用と回答した。73%が栄養士、11%が医療事務として就職することから、このような結果になったものと思われる。今後も取得した資格を活かして就職することを促していく。	14% (6名) の学生はあまり有用ではない、有用ではないと回答した。就職先が栄養士、医療事務でない者が7名であり、有用でないと回答した数に近い。資格を活かした就職をするか否かで、学修の有用性が判断されたため、資格を活かした就職を促すようにしたい。	
問5 就職活動は、自ら進んで活動(行動)できましたか。	74%が進んで行動できたと回答した。社会人基礎力の主体性を入学時から意識して指導し、多くの学生が就職活動を積極的に取り組めるようにしたい。	あまりできなかった、できなかったという学生が25% (11名) であった。就職は自身が活動すべきことであるため、教員は就職活動サポートに力を入れていく。	
問6 取得した資格の番号を回答してください。	栄養士 100% (44名)、医事管理士 18% (8名)、医療管理秘書士 77% (34名) であった。本学科は栄養士養成課程であるため、栄養士の全員取得は評価に値する。医療事務系の資格にも多くの学生が取り組んでいる。	次年度も栄養士取得 100%を目標とするとともに、栄養士実力認定試験において、高い判定(評価)を得られるようにし、学生が自分に自信をもって卒業できるようにしたい。	栄養士免許取得率100%で卒業後は8割強が保育所、病院、事業所で栄養士職に就いている。
問7 卒業に向けて当初の目標が達成できましたか。	74%が目標を達成できたと回答した。個々の目標は様々であるが、目標を達成できるようにサポートしていきたい。	あまりできなかった、できなかったという学生が25% (11名) であった。最初の目標設定が高すぎると達成度が難しくなるため、身の丈に合った目標設定を促すことも必要であると思われる。	
問8 2年間で振り返って成長できましたか。	83%の学生が成長できたと回答した。多くの学生が自身の成長を感じることができ、有意義な2年間を過ごすことができたことが推察された。教員からみても、授業や行事をこなし、様々な力が身についたことを実感している。	9% (4名) の学生は成長できなかったと回答した。成績や生活態度などが芳しくない学生に対して、細やかな指導の必要性を感じた。有意義な学生生活を送ることができるようサポートしていく。	

※問6の資格

1.栄養士 2.医事管理士 3.医療管理秘書士 4.その他